奨 学 金 継 続 願

独立行政法人
日本学生支援機構理事長殿

平成　　年　　月　　日

下記のとおり奨学金の継続貸与をお願いします。

学校名	大学院 大　学 高等専門学校 専修学校（専門課程）	学部 科	研究科 学　科	年
奨学生番号		フリガナ 氏　名	学籍番号：	印

本人記入

返還の義務

奨学金制度は、意欲と能力のある皆さんが経済的に自立し、自らの意思と責任により学生生活を送れるよう支援するものです。
また、貸与された奨学金は返還する義務があります。先輩奨学生の返還金が、直ちに後輩奨学生の奨学金として循環運用される仕組みとなっており、返還金が確実に返還されないと、次代の奨学生の採用に重大な支障をきたすことになります。
奨学生ひとりひとりがこのような制度の仕組みを理解し、責任を持って返還をすることが重要です。
あなたは　　ア．返還の義務を自覚している
　　イ．返還の義務を自覚していない

経済状況

学生生活費の状況など、経済状況は奨学金申込時または前回の継続願提出時と比較して変わりましたか。
　ア．好転した　　イ．ほぼ変わらない　　ウ．苦しくなった
主として家計を支えている人（父、母、祖父、祖母など）の昨年１年間の所得金額を記入してください。
※大学院の場合は、本人及び配偶者（定職収入のある配偶者がいる場合）の収入の合計を記入してください。
(1) 給与所得の場合　　源泉徴収票等における支払金額　　〔　　〕万円
(2) 給与所得以外の場合　確定申告の控における収入・売上金額〔　　〕万円
　　所得金額〔　　〕万円
あなたの経済状況を具体的に説明してください。

学生生活の状況

この１年間の学生生活の状況などを記入してください。
　例　課外における活動の参加
　　ボランティア等の社会参加

※ 表裏の太線内の記入項目（記入日・学校・学部研究科・学年・奨学生番号・氏名・学籍番号・電話番号及び本人記入欄）について、必ず全て記入したうえで捺印してください。また、学校認定欄には記入しないでください。

本人記入

学修の状況

この１年間の授業出席状況について、あてはまるものはどれですか。

ア．全部もしくはだいたい出席した　　イ．ア以外

イを選んだ人は、その理由を具体的に説明してください。

〔 理由 〕

この１年間の学修に対する取組みの姿勢について、あてはまるものはどれですか。

ア．熱心に取組んだ　　イ．取組みが不十分だった

イを選んだ人は、その理由を具体的に説明してください。

〔 理由 〕

アンケート

奨学事業実施上の参考とするため、次のアンケートにお答えください。
なお、このアンケートは、奨学金継続願の内容に影響を及ぼすものではありません。

設問１：奨学金が受けられなかった場合についてお答えください。

□（１）修学が著しく困難（不可能）となる
□（２）修学が困難となる
□（３）修学は可能であるが家庭からの給付、アルバイトが不可欠

設問２：奨学金の貸与を受けたことによって、勉学に励む時間が変化したかどうかお答えください。

□（１）増加した
□（２）やや増加した
□（３）あまり変わらなかった

設問３：現在、貸与を受けている月額についてお答えください。

□（１）満足している
□（２）少ない
□（３）多い

設問４：設問３で（２）、（３）を選択した方は３万円から２２万円のうち必要としている月額(万単位)を記入してください。なお、このアンケートにより必要としている月額の貸与が受けられるわけではありません。　〔　　〕万円

学校認定

各認定基準（人物・健康・経済・学業）ごとに認定してください。

											認定結果	
人物	□	継続					□	停止	□	廃止		
健康	□	継続							□	廃止	□	継続
経済	□	継続							□	廃止	□	激励
学業	□	継続	□	激励	□	警告	□	停止	□	廃止	□	警告
	標準的な修得単位数　〔　　〕単位										□	停止
	すでに修得した単位数　〔　　〕単位										□	廃止

学校意見（特に停止・廃止の認定をした事由）

学校認定欄の記載のとおり相違ありません。

学校名

学校長

（公印省略）

（注）① この継続願を所定の期限までに提出しない場合は、奨学生の資格を失います。
② 奨学金の継続を希望しない場合は継続願を提出せず、直ちに「異動願（辞退）」を提出してください。その後「返還誓約書」を提出していただくことになります。
③ カタカナの記号は、該当するものを○で囲んでください。

ご記入いただいた情報は、奨学金貸与業務のために利用されます。
この利用目的の適正な範囲内において、あなたの情報が、学校に提供されますが、その他の目的には利用されません。